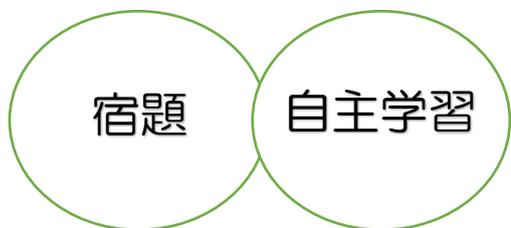


自ら学ぶ子どもたちに

学校での勉強をしっかり定着させ、「学ぶ力」を育てるためには、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。家庭では、子どもたちの基本的な生活習慣を身につけ、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組むことが大切です。ご家庭と協力し、子どもたちが学習習慣をきちんと身につけていく手立ての一つとしてこのプリントを活用していただけたらと思います。

○家庭学習とは



本校では、宿題（必ずする宿題）と自主学習（自主的におこなう学習）を合わせたものを、家庭学習とします。学級の子どもの様子に応じて、家庭学習のあり方を変えていきますが、原則として、低学年では、宿題を中心に学習し、学年が上がるにつれて、自主学習を導入していきます。

○家庭学習の習慣づけのために

規則正しい生活習慣と学習環境が大切です。以下を参考にしてください。

- ・早寝、早起き、規則正しい生活を心がけましょう。
- ・家庭で学習に取り組む時間帯を決めましょう。
- ・ゲーム、テレビ、タブレットなども取り扱う時間とルールを決めましょう。

○家庭学習の内容例（全校版）

学年	家庭学習の内容例	時間のめやす
低学年	<u>宿題中心</u> 読み・書き・計算などの基本的な学習をおこなう (音読・漢字や計算ドリル・日記・視写・読書など)	10分～ 20分程度
中学年	<u>自主学習の導入</u> 宿題に加えて、簡単な予習や復習、自分の決めた学習などをおこなう。	20分～ 30分程度
高学年	<u>発展的学習にむかっていく</u> 授業のまとめ、テスト勉強などもおこなっていく。	30分～ 50分程度

*各学年の宿題の内容については、担任の先生から説明します。